

こうみ



初夏の千代里牧場

6月議会 ー第2回定例会ー

こんなことが決まりました

2

議案・審議審査結果

2

議案質疑・各常任委員会からの要望

4

一般質問

5

議会報告会開催のお知らせ・郡議長会表彰
・臨時会・編集後記

12

きかせて みんなの夢
みなさんの未来に寄り添うまちに

こんなことが決まりました

令和7年第2回小海町議会定例会が6月2日から13日まで12日間の会期で開催されました。人事案1件、専決処分5件、条例改正案3件、補正予算案2件、陳情6件、追加議案として発議5件、補正予算案1件の合計23件で審議が行われ、陳情1件を除きすべて承認・可決・採択されました。

一般質問は6名の議員により行われ、町の考えをいただきました。

人事案

小海町教育委員会委員の任命
同意について

篠原明子氏（本間川）が全員賛成で同意されました。任期は令和7年6月5日から令和11年6月4日までです。

条例改正

小海町税条例の一部を改正する条例

特定親族特別控除の創設や、マイナ免許証の運用開始に伴う規定等の整備のほか、地方税法の改正によるものです。

小海町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の改正に伴い、医療分の課税限度額及び後期高齢者支援分の課税限度額を引上げ、国民健康保険税率の変更に伴う軽減額等の変更と、保険料の減額措置に係る軽減判定所得基準の見直しによるものです。

災害に際し応急措置の業務に従事した者に係る損害賠償に関する条例の一部を改正する条例

障がい者に関する用語の整理を行うものです。

小海町消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の定数を現在の人員にあわせ、2人増の141人とするものです。

全員賛成で可決

令和7年度一般会計補正予算（第2号）全員賛成で可決

4,235万円を増額 総額49億7,363万円

【歳出の主なもの】

- 地域活性化企業人派遣事業 658万円
- 障がい者・高齢者等の住まい整備開発行為許可申請費用 2,345万円
- 旧小海リサイクルセンター水質検査費用 162万円
- 防火水槽設置事業 350万円

令和7年度特別会計補正予算 全員賛成で可決

介護保険事業特別会計（第1号） 39万円減額 総額7億2,679万円

令和6年度一般会計補正予算（第8号）全員賛成で承認

6,225万円を増額 総額48億6,555万円

【歳出の主なもの】

- 令和6年度事業の精算が主なものです。

【財源の主なもの】

- 特別交付税 3,901万円

令和6年度特別会計補正予算 全員賛成で承認

国民健康保険事業特別会計（第3号） 3,180万円減額 総額4億8,593万円
介護保険事業特別会計（第5号） 2,021万円減額 総額7億700万円
後期高齢者医療特別会計（第2号） 82万円増額 総額8,895万円

追加議案

令和7年度一般会計補正予算（第3号）全員賛成で可決

1,000万円を増額 総額49億8,363万円

【歳出の主なもの】

- 保育園児専用バス購入 1,000万円

6月議会第2回定例会で

陳情

フオワード導入に関する補助金の陳情書
陳情者 南佐久中部森林組合
代表理事 黒澤 和夫

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情書
陳情者 佐久地区平和・人権・環境労働組合
議長 井出 典男

長野県憲法擁護連合
代表委員 松澤 佳子

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書」
陳情者 長野県教職員組合
単組長 佐久支部 小海町単組 赤羽 雄太

「カリキュラム・オーバード」の改善を求める意見書
陳情者 長野県教職員組合
単組長 佐久支部 小海町単組 赤羽 雄太

国保制度の改善を求める陳情書
陳情者 佐久地区
社会保険推進協議会
代表委員 林 春二

高額療養費の限度額引き上げの撤回を求める陳情書
陳情者 佐久地区
社会保険推進協議会
代表委員 林 春二

議員発議

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

賛成多数で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書

賛成多数で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

「カリキュラム・オーバード」の改善を求める意見書

賛成多数で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

高額療養費の限度額引き上げの撤回を求める意見書

賛成多数で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書

賛成多数で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

第2回定例会で賛否が分かれた議案・陳情

（委員長報告に対しての賛否）

（○は賛成 ×は反対）

(議案・陳情名簿)	(議員氏名)										
	中村 佳太	小池 喜昭	菊池 一巳	小池今朝之	渡邊 晃子	的埜美香子	黒澤 敦史	鷹野 文則	古谷 恒晴	井出 和人	渡辺 均
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
国保制度の改善を求める陳情書（継続審査）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

議長 職



6名の議員が町政を問いました

一般質問



- ご不明な点は各議員にお尋ねください。また正式な記録は町ホームページにある会議録をご覧ください。
- YouTubeで動画を視聴できますので、是非ご覧ください。



YouTube配信QRコード

- | | | |
|-------|----------------------|-------|
| 6ページ | 小海町に伝わる文化の活用、支援、継承を | 黒澤 敦史 |
| 7ページ | 障がい者グループホーム今後への思いは | 渡邊 晃子 |
| 8ページ | 弱者に優しいよろず相談窓口を医療機関に | 渡辺 均 |
| 9ページ | 役場は魅力ある職場でしょうか？ | 小池 喜昭 |
| 10ページ | 定住促進と空き家対策の課題と展望は | 中村 佳太 |
| 11ページ | 米をしっかりとした価格で買い取る仕組みを | 的埜美香子 |

○一般質問とは

定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。

議案質疑

- Q** 令和6年度一般会計補正予算(第8号) 関係

Q 広域保育事業の補正がどうして3月なのか？今年度も同様となるのか？

A 該当者は4名いるが、流動的なことが見え隠れしている。明確にわかり次第補正計上をしていきます。
- Q** 林道費の補助金事業について歳出は3月補正であったが、歳入については今回の補正である理由は？

A 県による補助金の確定が5月であったためです。
- Q** 村上団地の埋設物撤去費の補正について、遅すぎではないか？

A 住宅は既に完成しているが、気を付けるようにしたい。
- Q** 道路測量設計委託料について、なぜ3月で減額をしなかったのか？

A 複数の工事が施工中であり、3月での減額補正が間に合いませんでした。
- Q** ごみの処理量について、経年変化を見ればかなり精度の高い予算設定ができるのでは？

A ごみの減量化を図っているが、増減の見込がわからない。基準値である860tで予算計上をするしかない。
- Q** 総じて歳出の大幅な追加が目立つ。事前に補正予算で処理するべきではないか？

A 流用をせず、しっかりと増減を計上した。最小の予算で最大の効果が図れるように行政を進めていきたいと考えてるので、ご理解を願いたい。

- Q** 令和7年度一般会計補正予算(第2号) 関係

Q ふるさと寄付金の200万円増額は確実に見込めるのか？

A 期待値を含めて返礼品内容も変えていきます。
- Q** 地域活性化企業人の意図とどういう成果を期待するのか？財源に国からの助成はないのか？

A 空き家を活用した食用花栽培の事業に携わる。一定の経費については特別交付税で措置されます。
- Q** 旧小海リサイクルセンターの水質検査の説明を。ダイオキシンの数値が高かったと聞いたが？

A 町は林業政策として、機械増設による補助を実施し伐期を逃すことなく施業、主伐、再造林と森林保全に努めることを期待すると共に、町の林業施策に対する林業計画を立てることを要望する。

- Q** 水質・大気・土壌の検査箇所を各1か所ずつ追加します。若干基準値を超えた数値が出たため、検査箇所を増やして調査します。

A 最適土地利用総合事業の説明を？

A 町の遊休農地を開墾して、3年間で100人の農業人を町へ迎えるという事業です。親沢・川平・宿渡・笠原地区を予定しています。
- Q** 大畑の監的塚の整備については、今回の落石対策工事のみで完了か？

A 基本的に個人の財産となるため、所有者と相談しながら進めていきます。
- Q** 予算決算常任委員会

Q 専決補正での大幅な追加補正が目立つことから予算流用が恒常的にならないよう留意されたい。

A 専決での精算が大きくならぬよう、内容を十分精査し、3月定例会において数字を固めるとともに、予算の増減につきましては事業ごとに分離し、流用額が過大にならぬよう努めてまいります。
- Q** 旧小海リサイクルセンターの残産廃の対応については、地域住民の要望もあるので、町としてできる対応をお願いしたい。

A 旧小海リサイクルセンターの残産廃の対応につきましては、産業廃棄物でありますので県との協議を持ち、地域住民の不安を取り除くよう対応してまいります。

問 障がい者グループホーム今後への思いは

答 町長 一日も早く推進するという形でおります



あきこ 晃子 議員
わたなべ 渡邊

町民課長 精神障がいのある方は行き場の確保が大きな課題。障がい児は多くの施策に取り組んでまいりましたが、全国的な課題でもある専門的な人材が不足していることが地域でも大きな課題です。住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる町づくりを目指して着実に取組を進めて参りたい。

問 障がい者・児の現況、課題は。
町民課長 県の協力を得まして地方創生推進交付金を活用して障がい者と高齢者等の住まい、いわゆる町営住宅で整備を進めて参ります。ただし、将来的にはグループホームとしての活用もできるような、構造や設備については柔軟性のある設計で整備をしていく方針です。日中支援型の整備について、引き続き検討していく必要があると認識しております。検討委員会のなかでは、気軽に意見交換ができる

問 グループホーム改めて経過は。
町民課長 県の協力を得まして地方創生推進交付金を活用して障がい者と高齢者等の住まい、いわゆる町営住宅で整備を進めて参ります。ただし、将来的にはグループホームとしての活用もできるような、構造や設備については柔軟性のある設計で整備をしていく方針です。日中支援型の整備について、引き続き検討していく必要があると認識しております。検討委員会のなかでは、気軽に意見交換ができる

問 移動支援について。求めに応じられているか。
町民課長 移動支援事業は社協ともう1事業所で行っております。利用者の増加と共に、その重要性も高まっている状況です。南部5力町村でも、移動支援の在り方が共通の課題で、郡単位での広域的な交通ネットワークの構築も視野に入れて検討を進めているような状況です。

問 障がい、高齢者支援の観点でも巡回投票導入は。
総務課長 投票期間が短い期間の町関係は難しいけれども、期間が長ければ可能性もあるかなと思います。

問 人手不足に関して、福祉関係の報酬を国が引き下げもつてのほか。財政規模も全く



町長 具体的にどうのこの場では申し上げられませんが、そういった方向はしっかりと捉えて進めて行きたいと思っていますので、風通しのいい仲でいましょう。違うが、世田谷区は独自の給付金支給を始めた。広域でも、独自の支援体制構築は。

問 小海町に伝わる文化の活用、支援、継承を

答 町長 教育委員会中心に継承発展させていく



あつし 敦史 議員
くろさわ 黒澤

問 スケートや三番叟など、地域で残さなければならぬ文化への支援について
町長 文化に関わることで、担うことは、地域の一員としての自覚や誇りを育むだけでなく、とりわけ若者にとっては、自分自身が社会の中で必要とされているという感覚、自己の存在価値や自己肯定感を高める重要な機会となります。その地域を地域たらしめる文化というものについて、住民自らが「なぜ存在しているのか」「何のために続けてきたのか」といった関心を持ち、また関

わる中でその本質を知ることが、結果として文化が継承されていくための大切な出発点、原点になるのではないのでしょうか。地方の文化の一つひとつが、日本という国全体の歴史であり、また多様性と深みを形づくっていることも私たちは改めて認識するべきです。そして、文化を地域の宝だと心から信じ、大切にしているという実感こそが、文化を、歴史を次の世代へとつなぐ最も強い力となります。スケートも人形三番叟も、それぞれ形は異なりますが、共通して言えることは「歴史の中で、

意味があって生まれて育まれ、住民同士の関わりがあって初めて成り立つ文化」であるということであり、文化とは、人の営みの積み重ねであり、誇りであり、地域の未来そのものです。まさにそれが「歴史」というもので、文化を守るためにはまずはその「歴史」を学ばなければなりません。歴史を学べばこそ、文化を守ろうとする意識、意欲が生まれます。文化を守るとは人を育てることであり、文化を継ぐとは地域の明日を育むことです。その視点に立ち、町としてもハード・ソフト両面における支援のあり方を検討し、真に地域に根差した文化政策を展開していただくよう期待



松原湖スケートセンター

します。スピードスケートや三番叟、御柱祭、方言や郷土食、風習や習わしなど、小海町に息づく文化を、今後どのように活用し支援、継承していくおつもりでしょうか。



親沢の人形三番叟

町長 教育委員会を中心に、こども課を含めて、町内の文化の継承と更なる発展を目指します。

問 役場は魅力ある職場でしょうか？

答 総務課長 一番の魅力は安定性です



こいけ よしあき
小池 喜昭議員

総務課長 町の人口も少なく、立地が関係しており応募数も少ない。魅力については、行政の仕事の内容は、一般的に事務が多く、形として残せない為アピール度が低く、不景気の時に公務員志向は強くなります。一番の魅力は安定性

小池議員

町民が元気で明る

問 応募数や採用が、町内から少なくってあります。現在の町内の若者たちから見て小海町の役場は魅力がある職場なのでしょうか。

役場職員の

勤務状況について

問 役場職員の勤務状況とか、処遇に対する満足度は職員からどのように思われていますか。

総務課長

サービス残業と言った様な余り聞くと良くない印象ですが有るのは事実です。人事異動により仕事の全容把握にはどうしても時間が掛か

り、そこはサービス残業もございいます。印象が悪いところになっていきます。

安心安全面の

対策について

問 防犯カメラの増設が犯罪の抑制につながると思います。防犯カメラの増設をお願いしますが、町の考えは。

総務課長

令和7年についても2台の予算を確保してございます。地区からの要望をもつて箇所を決めて、設置をしていきたいと思っています。集落の出入口とか、松原の観光地にも設置すれば、安心度は高まると思います。

問 夜間に町内で懐中電灯等を持参しなければ歩けない箇所がどのくらいあるか把握されていますか。町内に町で設置した街灯等はどの位ですか。



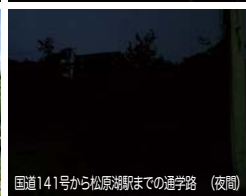
松原湖駅南口バス停付近 (昼間)



松原湖駅南口バス停付近 (夜間)



国道141号から松原湖駅までの通学路 (昼間)



国道141号から松原湖駅までの通学路 (夜間)

問 観光地などの通学路でも統一感のある2灯式(高価なもの)は集落支援事業では賄えないため、町で設置のご検討をお願いします。

総務課長 その都度検討をしてまいります。

教育長 集落内の街灯については、防犯灯の形で、町内では798基設置、町道では134基あり、街灯は防犯灯として管理は区で行い、管理費の一部を町から区に交付しています。

問 弱者に優しいよろず相談窓口を医療機関に

答 町長 問題が小さいうちに未然に防ぐ、十分参考にしたい



わたなべ ひとし
渡辺 均議員

問 セクハラやパワハラ、いじめやストーカー、引き籠りや家庭内暴力、過度なストレスによる精神障害や自殺などで事後に第三者委員会が設置され、加害者が頭を下げる姿を見かけます。事後でなく、事前に公正中立なよろず相談窓口を第三者的窓口として開設できないか。

町長 問題が小さいうちに未然に防ぐ、十分参考にしたい。

問 故清水茂文佐久病院院長は、「若槻俊一から何を学ぶか」という本の中で「よろず

相談所”開設の必要性を述べています。社会の歪は弱者にしわ寄せされる。弱者に寄り添う相談窓口は医療、病院と連携した第三者機関に求めたい。地域包括支援センターや社会福祉士などの行政職員には、相談しにくい現実があり、間に隠れる。設立に向けた検討会を編成できないか。

総務課長 既に東信労務事務所などに設置されている。

問 弱者に対する認識が欠けている。相談しない方、表に出ない方が深刻な弱者として

存在し、そういう方が自殺や孤独死する。受給条件を満たしても生活保護を受けない方も多い。弱者に対するきめ細かな配慮が必要で、その窓口は医療機関に託す。

渡辺議員 行政では難しい。医療機関が適当。研究会を立ち上げて頂きたい。

小海分院の支援を、町づくりとして長期振興計画に反映

問 小海分院の経営が厳しい。従業員の手当てがカットされている。

町長 私もショックを受けた。

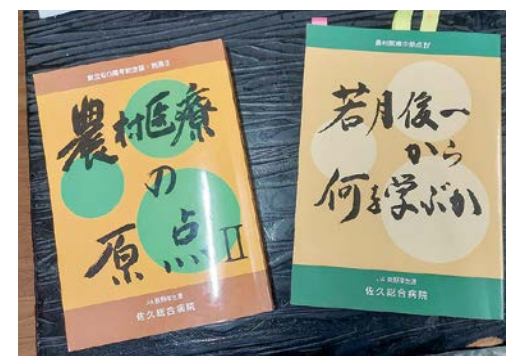
問 町は毎年1500万円の補助を計画、これで分院の持続的な維持管理が担保できる

のか。

町長 昼間、町で働く人は病院関係の方が多い。(維持に向け)後押ししたい。

問 相談窓口の開設、医療や介護、福祉の充実した、小海ならではの、優しい町づくり、これを具体化するための調査、研究活動に取り組み、長期振興計画に反映させられないか。

町長 多岐・多様にわたる提案、ありがとうございます。聴く耳を持つているので、一緒に検討を頂きたい。



佐久病院創立60周年記念誌より

問 米をしっかりとした価格で買い取る仕組みを

答 町長 価格動向を見守っていただきたい



まの 美香子 議員

問 米価高騰対策は
答 今、米の高騰をめぐり二重の危機に直面しています。一つ目の危機は高すぎて買いたくても買えない状況になり、家計を圧迫していることです。町としての米価高騰対策は、
産業建設課長 国の物価高騰対策交付金を使い、全ての物価高騰支援をしていきたいと考えています。
問 今回の補正予算を見ても物価高騰対策はない。もう一つの危機は、減反減作を農家

に押し付けてきた結果、米を作れ、増産しろと言われても簡単には作れない状況。全国で見ると、10年間で46万戸減り、135万トンの減量です。小海の実態はどうか。
産業建設課長 令和元年から約5割減り、作付け農家も4割減少しています。高齢化、後継者不足、水田から太陽光に色んな面で、国の減反政策でこのような形になってしまった。小さな町で何とか農地維持を考えていくというところが現状です。

問 町で使う米（ヤツホーの湯や学校給食など）に対してしっかりとした価格で買い取る仕組みを作れないか。
町長 米価については、もう少し見極める時間がなければ、大変危険な方向にいくのではないかと思います。最低限、今年の米がとれてどうなるか動向を見守っていただきたい。
町営住宅の更新計画について
問 耐震調査の診断結果を見ると昭和56年以前に建設のため改修ではなく建て替えを検討した方がいいとある。更新計画はどのように考えているか。
町民課長 よりよい補助金もあるかなど県の方とも相談しながら早急な更新計画を立てていきます。
問 町営住宅に入居条件の見直しは。①連帯保証人が二人必要か②敷金が必要か③エア



溝の原の水田

コン設置されていない住宅へのエアコン設置は④更新計画を立てる中で家賃の見直し
町民課長 ①状況を見ながら対応の変化も必要で検討材料②それほど大きく修繕がかかるケースは少ないので、クリーニング的なもので、あとは返還③住宅リフォーム補助制度の活用も出来ます④新築予定の中で物価高騰、社会情勢、入居の状況も踏まえ、今後検討

その他、高すぎる国保税についての質問をしました。

問 定住促進と空き家対策の課題と展望は

答 総務課長 成果は多々ある。引き続き注力していく



なかむら けいた 議員

問 町の移住・定住施策について、認識している成果と課題は。
総務課長 2015～2024の9年間で51人、ほぼ生産年齢の方々が移住したのが成果。今は移住しようにも空き物件がほぼない状況が課題。
問 令和6年度の空き家調査の結果を基に、どのような定住促進を行っていく予定か。
総務課長 約190件の空き家があるが、実際にそれを活用できるかが問題。所有者と交渉

をして了解を得る作業がこれから。少しでも多くの物件を確保し、移住施策に繋げていきたい。
問 移住者の多いエリアでは、地域や空き家事情に詳しく、不動産の知識もある程度持つコーディネーターが活躍している。現在は役場職員の業務時間外での対応が目立つが、専門職の必要性について町長の考えは。
町長 専門職を置きたいのはやまやまだが、今は職員が担当しているのが実情。そうい

った組織があれば、相談させていたきたい。
小海町の労働環境について
問 佐久穂町小海町合同就職相談会の実施の成果と課題は。
総務課長 相談会に参加する人数が少ないというのが課題。大きな病院などが職場としてあるという発信、小海町が自然環境に恵まれたいい場所という、この辺の発信力を高めていくのが今後の課題。
問 終業時間後や土日に、多くの職員が残務処理を行っている。現在役場では日常の残務処理を含む全ての労働時間について、超過勤務命令と手当を出しているか。そうでない場合、何に基づき支給を決定しているか。
総務課長 サービス残業もある。超過勤務届を職員に出してもらい、それについて勤務を管理職側が命令するが、可能なものとするでないものを

②R6年度空家調査結果

ランク	判定内容	空家棟数
A	小規模の修繕により再利用が可能（または修繕がほとんど必要ない）	169
B	損傷は見られるが、当面の危険性はない（多少の改修工事により再利用が可能）	25
C	今すぐに修繕や建築材の撤去等の危険性はないが、損傷が激しい（老朽化が著しい）	3

利用意向調査	回答数（重複あり）
売却したい	26
賃貸したい	19
未利用物件（空家）のままにしておく	18
防災、所有者やその他の親族が利用したい	12
解体して土地を利用したい	7
その他	20
未回答	6

町長 歯切れのいい答えが出ないのが実情。役場職員77名、1か月かけて個人面談を行う。7年続けてきて、本音で言ってもらえる部分も出てきている。そうしたものを最大限活用しながら、いい職場づくりに私からまず先頭を切っていかなければいけないと感じている。

分けているのが現状。近年、療養休暇の数が増えてきたのも事実。働き方改革を進めていきたい。
問 総務課長の答弁を踏まえて町長の考えは。

議会報告会開催のお知らせ

本年度も議会報告会を開催します。
内容は各常任委員会からの報告と、町民の皆様との意見交換会を予定しています。
大勢の皆様のご来場をお待ちしております。

開催日：令和7年10月19日（日）午後2時～
会 場：北牧楽集館多目的ホール

郡議長会表彰

去る4月30日をもって議長を退任されました有坂辰六前議長へ、南佐久郡議長会より感謝状が贈呈されました。



令和7年第2回臨時会

令和7年4月25日開催

人事案

小海町教育委員会委員の任命同意について

今井茂氏（大畑）が全員賛成で同意されました。任期は令和7年5月1日から令和11年4月30日までです。

契約議決

防災行政無線施設改修工事請負契約の締結について

防災行政無線施設改修工事 全町
契約金額 1億2,980万円
契約相手 株式会社 国際電気

全員賛成で可決

補正予算

令和7年度小海町一般会計補正予算（第1号）について

1, 228万円増額し、総額49億3, 128万円に。主なものは地方創成第2世代交付金を活用した、こうみワインプロジェクト事業の増額です。
賛成多数で可決

編集後記

新しい議員を交えた、新しい議会が始まりました。

議会の役割は、町（行政）が法律に従って適正に業務を執行しているか、特に重要なことは予算が適正に使われているか、これからどこに、どのように使われるのか、チェックすることです。

しつかりチェックするには、議員同士で先ずは意見調整し、議員としてでなく、議会として町に予算の是正や修正を求めることです。

予算は大変多く、個々を細かくチェックすることが実は大変困難です。

でも、これをやらないと議員・議会の存在価値がありません。議員歳費の見直しが予想されます。その前に、複雑でも大儀でも、議員としての職責を自覚し、仲間議員に働き掛け、議会として町政のチェックに取り組みたいと思います。

（編集委員 渡辺 均）
編集責任者 篠原 哲雄
編集委員長 鷹野 文則
編集委員 渡辺 均
編集委員 的埜美香子
編集委員 菊池 一巳